

EM・X GOLDの探求

〜真理に迫る情熱と進化し続ける強さ〜

EM・X GOLDは誕生から約4年。

しかしその開発の歴史は20年以上前から続く

「進化の歴史」であることを

知る人はおそらく少ないでしょう。

EM・X GOLDは今、その製造の場所を

新しい設備と工場へと移し、

また一步、進化しようとしています。

製造・発売開始から工場の移転に

至るこれまでの苦労やエピソードを

探つていく中で、EM・X GOLDに

込められた進化と高品質への

強い想いが見えてきました。

EM・X GOLDが何者かを
本当に理解するためには、その開
発と改良の歴史を少しお話しす
る必要がありますね。

私が琉球大学農学部に入學し
た1989年(平成元年)当時、
農学部の熱帯果樹研究室の教
授だった比嘉照夫先生は、既に
農薬・化学肥料に替わる安全
な農業資材としてのEM(有用

微生物群)の研究を進めていま
した。私は大学2年の時から比
嘉教授の指導を仰ぐようになり
ました。

その頃、比嘉教授は人の健康
によいと思われる植物や海藻など
の材料をEMで発酵させる実験
をしていました。いろいろな用途
を試し、肌に塗ったり、飲んだり
もしていました。これが数年後の
1994年に発売された初代
EM・Xの原型で、多くの良い反
響がありました。しかし、EM
の真の実力を比嘉教授も全部理
解していたわけではなく、今振り
返ると、EM・Xの誕生はゴール
ではなくスタートでした。

**本当の主役は
原材料ではなく微生物**

EMが見せる現象について日
進月歩で進む研究がEM・X
に反映することが当然です。
実際、比嘉教授はEM・Xの
能力を高める方法を研究し始
め、その結果、まるで天動説

が地動説に変わったほどの重大
な認識の変化がありました。
今まで、発酵によって生み出さ
れる原料由来の有効成分が重
要だと考えていましたが、実は
本当の主役は微生物の力だと
わかったのです。こうした新し
い認識の下で、以前とは原料も
製法も新しく変えて生まれた
のが、現在のEM・X GOLD
です。

比嘉教授は現在も、多くの
EMの活用結果(事実)を集約し、
EMの核心を探索し続けていま
す。比嘉教授の研究者としての
真理に迫る情熱や、日々進化し
続け、変わり続ける強さが、
EM・X GOLDという形になっ
ています。比嘉教授が長年研究
し、培われた技術を預かる立場
として、私たちは責任を持って高
品質の商品を皆様にお届けし続
けます。

EM・X GOLDは 進化し続けることの 証です



Interview

株式会社EM研究機構 製造部 執行役員兼部長

仲嶺 正樹さん

さらなる安全安心の信頼を お届けするために新しい工場と設備で EM・X GOLDの製造が始まります！

常に品質を高め続ける
EM・X GOLD



仲嶺 EM・X GOLDの安全性を含めた品質を、今よりも

更に高めていくには「継続的改善」という考え方が重要だと考えています。現在操業中の工場で行われる製品の安全性や品質は高く、年間出荷本数60万本のうち（過去3～4年の間）、未開栓の製品の中身に関する苦情は0件です。皆さんは現状のままでも十分な安全性と品質を維持できるように思われるかもしれませんが、「継続的改善」の考え方では、今後、万が一のミスも起こらないように、そのリスクを減らしていくためにあらゆる可能性を予測し日々改善していくことが求められます。そうやって先手、先手を打ちミスを未然に防いでいくという努力をしています。

万が一のミスを防ぐために、あらゆるリスクを洗い出す

広い意味で「品質」と言うと、製品そのものだけでなく、付随する様々な資材やサービスといったことも含まれますが、私たちが製造する立場から見た「品質」

言えるのか、言えないのか、その基準や根拠を明確にし、そして決して妥協しないことを心がけています。



製造スタッフの皆さん

私はEM・X GOLDの品質保証という仕事に携わっています。製造担当者は、店頭でお客様と直接話すことはできません。私たちとお客様の会話は、唯一、お客様が手に取られた一本の商品だけ。だから「一本たりとも不良品を出さない」ことが私の責任です。できあがった製品を工場から出荷するかしらないか、私が下す判断の重みを強く感じています。なぜこれで安全だと

Interview

株式会社EM研究機構 製造部 品質保証課 課長代理

島袋 俊さん

EM・X GOLDを手にとった時、そこに製造スタッフの強い使命感を想像する人はほとんどいないでしょう。しかし彼らの想いは、確実に商品の中に詰め込められて、私たち一人一人のもとに届けられています。

というのは、製品そのものです。例えば、味や香りを常に一定に保つこと、異物が混入しないこと、商品ラベルや化粧箱といった包材に傷がないことなどです。それらを満たした100点満点の製品を常に生産し続けることがEM・X GOLDを信頼し、ご愛用くださるお客様への最も基本で最も重要な責任です。

より厳しい国際 安全性基準を運用

より高い安全性を獲得するために食品製造業における最高峰の国際安全基準※FSSC22000を早ければ12月までに、遅くとも来年3月までに取得する予定です。現在はISO22000という基準で運用していますが、FSSC22000は更に具体的な衛生管理が厳しい基準です。その運用のために工場の設計の段階から準備しなければなりません。新工場では、今まで以上の高いレベルで品質を管理できること、そして工場見学を通じて直接ご愛飲くださっている皆様との交流が可能になることが私共を大きく成長させてくれるものと期待しています。

※FSSC22000：ISO22000の規格要求事に加えPAS220食品製造加工業を対象としたガイドラインが加わり、より客観的厳正な運用を求めるものです。

工場見学は来年4月から受付開始!!

今までは、工場の設計上、どうしても衛生管理の問題があり、見学することができませんでした。新工場ではそれらの問題を解決し、工場見学が可能になります。現在はまだ準備中とのこと。来年の4月が楽しみです。



奥に見えるのが、EM・X GOLDをボトルに充填する機械です。



充填されたボトルが、ラベルの装着ラインへ流れていきます。

建物内の設備はまだ工事中ですが、簡単にご案内します。



EM・X GOLDのボトルにラベルを被せて密着させる機械です。



ここが機械による製造ラインのゴール。手作業で一本一本丁寧に箱詰めします。



工場見学の時には、この部屋で映像をお見せしたり、EM・X GOLDの試飲をしていただこうと考えています。

2012年
11月
製造開始

